

### □■タイのテックスタートアップ動向と AI 分野における投資機会■□



こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、グラフです。

タイのスタートアップエコシステムは近年、目覚ましい成長を遂げています。特に AI 分野では 2023 年に前年比 37% という高い成長率を記録しています。タイは世界的なスタートアップエコシステムランキングで 54 位、東南アジア地域では 4 位という評価を受けています。国内には 2,100 以上のスタートアップが存在し、すでにユニコーン企業が 3 社誕生していることからそのポテンシャルの高さがうかがえます。また現在、タイ国内には 133 社の AI 関連企業が存在しますが、政府は 2028 年までにこの数を 1,000 社に増やすことを目標に掲げています。

参考 1 : <https://www.scb10x.com/en/blog/thai-startup-growth-opportunities-2024>

参考 2 : <https://www.bangkokpost.com/business/general/2935257/bid-to-create-7-5-fold-growth-in-local-ai-firms>

参考 3 : <https://www.nationthailand.com/business/tech/40045687>

#### ・2025 年のタイのスタートアップエコシステム概要

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

---

タイは、東南アジア地域の中でも特に、スタートアップの中心地となる可能性を秘めています。冒頭で述べた通り、スタートアップエコシステムの世界ランキングでは54位、東南アジア地域では第4位にランクされており、今後の成長性に大きな期待が寄せられています。この成功の背景には、タイの起業家精神、政府による積極的な支援、そして複数の産業が連携してスタートアップの成長を後押ししていることが挙げられます。

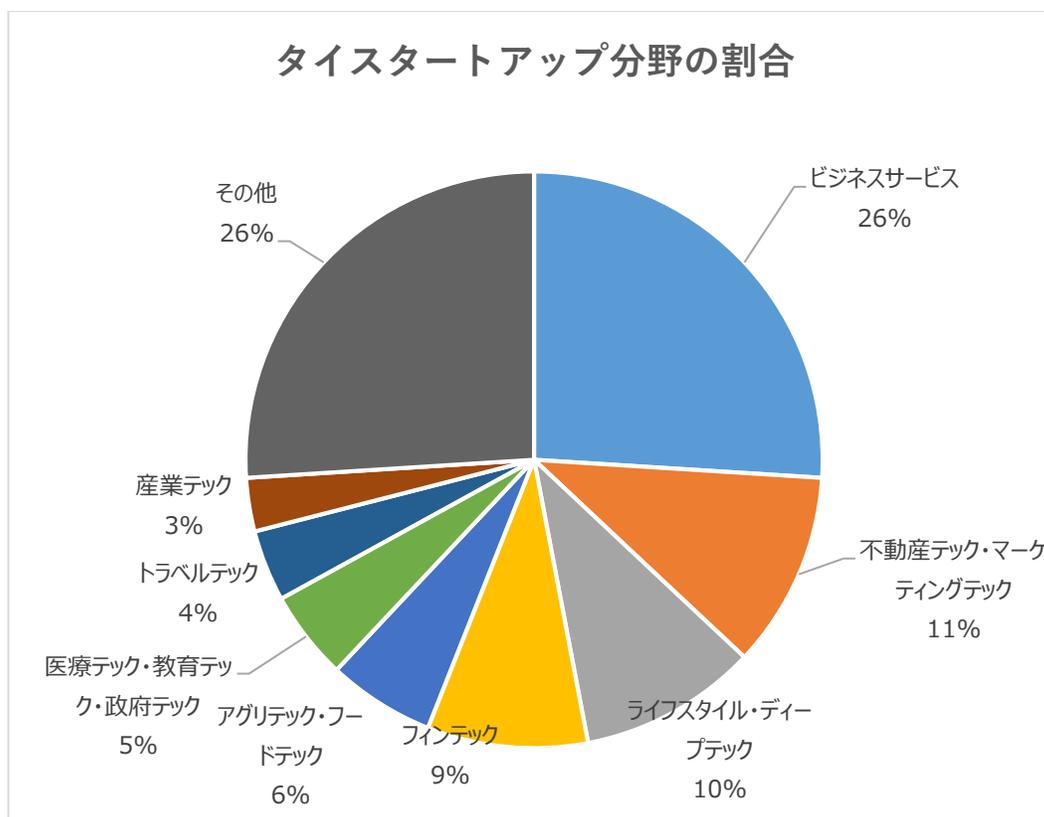
特に注目すべきは、バンコク、チェンマイ、プーケットという3つの都市が、世界有数のスタートアップエコシステムを持つ都市、という評価を受けているという点です。これらの都市は、インフラ、人材、投資環境が整っており、東南アジアでのビジネス展開に最適な国の一つとなっています。

2024年に国家イノベーション庁（NIA）<sup>\*1</sup>が発表した調査によると、タイ国内には現在約2,100社のスタートアップが存在しています。このうち、プレシード段階（起業準備・初期段階）の企業が約700社、市場参入または成長段階の企業が約1,400社と、スタートアップのライフサイクル全体にわたって活発な動きが見られます。

さらに、2020年にタイ全土の100社を対象に実施された調査では、以下のような多様な分野でのスタートアップの活躍が明らかになっています：

- ビジネスサービス：26%
- 不動産テック・マーケティングテック：11%
- ライフスタイル・ディープテック：10%
- フィンテック：9%
- アグリテック・フードテック：6%
- 医療テック・教育テック・政府テック：5%
- トラベルテック：4%
- 産業テック：3%
- その他：26%

※1：国家イノベーション庁（National Innovation Agency：NIA）は、高等教育・科学・研究・イノベーション省の傘下にある政府機関です。NIAの主な役割は、タイ国内でイノベーションの開発と促進を行うことです。



参考 4 : <https://www.nia.or.th/Thai-Startup-2024>

参考 5 : [https://www.ditp.go.th/wp-content/uploads/2023/11/14\\_Tech-Startup-in-Thailand.pdf](https://www.ditp.go.th/wp-content/uploads/2023/11/14_Tech-Startup-in-Thailand.pdf)

タイはインターネット環境さえあればどこでも働ける、デジタルノマド<sup>2</sup>にとっても魅力的な国となっています。特にバンコクとチェンマイはノマドワーカーにとって人気の拠点となっています。

近年、タイ政府はこうしたデジタルノマドの知識やスキルを地域社会に還元する新たな政策を打ち出しています。特に注力しているのが、地元の起業家と海外からの起業家の連携を促進し、労働者に実際の利益をもたらす相互接続プロジェクトの推進です。

このような動きは、単なる外国人誘致にとどまらず、イノベーションとローカル経済の融合を目指す持続可能なエコシステムづくりにつながっています。

※ 2 : デジタルノマドとは、IT 技術を活用して、主にリモートワークで仕事をする人たちのことを指します。特定の場所に縛られず、世界各地を旅しながら仕事をするライフスタイルを実践しています。

### ・タイのユニコーン企業の成功

タイは、優れたインフラ環境、中程度の生活費、そして合理的なビジネス運営コストを兼ね備えており、スタートアップや投資家にとって魅力的な立地条件が整っています。その結果として、タイではすでに3社のユニコーン企業（企業価値が10億米ドルを超えるスタートアップ）が誕生しています。

#### 1. Line Man Wongnai



フードデリバリー、商品配送、物流サービスのプラットフォーム

#### 2. Flash Express



テクノロジーを活用した配送・物流企業

#### 3. Ascend Money



独自の電子通貨を活用した E-Wallet（電子財布）サービスを通じて、請求書の支払い、送金、商品購入など、幅広い日常的な金融取引を可能にするフィンテック企業

これらのユニコーン企業の成功は、世界市場におけるタイのスタートアップ分野における大きな可能性を示すだけでなく、次世代の起業家にインスピレーションを与え、国内外からの投資をさらに呼び込む原動力となっています。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

---

タイのスタートアップには 500 TukTuks、Beacon Venture Capital、Krungsri Finnovate、SCB10X といった有力なベンチャーキャピタルが投資しており、それぞれがエコシステム全体の成長を支えるキープレイヤーとして重要な役割を果たしています。

### ・タイにおける AI スタートアップの状況

近年のタイにおける AI 産業の成長には目を見張るものがあります。2023 年には国内の AI 関連企業の数 が 133 社に達し、前年比で 37% の増加という高い成長率を記録しました。もちろん、数十万の AI 企業が存在すると言われる中国などの大国と比べるとまだ規模は小さいですが、タイ人工知能起業家協会（AIEAT）は、2028 年までに企業数を 1,000 社に増やすという、野心的でありながら国からの支援をバックに現実的な目標を掲げています

※3：タイ人工知能起業家協会（AIEAT）の HP：<https://aieat.or.th>

最近では、タイの主要 AI 企業 5 社（AthenaAI、Perceptra、Gowajee、Eidy、Float16）がタイの AI 産業におけるインフラ問題を解決するため、「AI スタートアップアライアンス」と「AI 開発者グループ」を設立しました。この 2 つの組織は既に活動を開始しており、この協力関係は、タイの AI 起業家たちが産業を共同で発展させようとする決意を実現する具体的な取り組みとなっています。

2025 年、タイ国家イノベーション庁（NIA）は、タイのスタートアップエコシステムをさらに強化するために、「Co-Maker Space」プロジェクトを本格的に推進しています。このプロジェクトは、特に AI、グリーンテクノロジー、フィンテックといった、将来のタイ経済にとって重要な分野に焦点を当て、スタートアップ同士の共創とイノベーションを促進するための場を提供するものです。

NIA によれば、2025 年は世界的な経済変動、消費者行動の急激な変化、新たなテクノロジーの波の到来、といった要因によって、スタートアップにとって試練の年になると見られています

参考 6：<https://www.nationthailand.com/business/tech/40045687>



### ・注目すべき AI 技術のトレンド

国家イノベーション庁（NIA）は、タイの未来をけん引する可能性を秘めた 3 つの主要技術分野として、以下を挙げています。

#### 1. 人工知能

Generative AI と AI エージェントシステムに注目をし、これらが仕事やビジネスの在り方に革命をもたらす存在になると見えています。実際、世界中の経営者と投資家の 70% 以上が、AI エージェントが、問題解決からサービス提供までのプロセスにおいて不可欠になると確信しています。

#### 2. グリーンテクノロジー

世界の環境技術市場は今後 10 年間で年約 25% の成長が見込まれており、クリーンテックやクライメートテックなど環境問題を解決する技術が含まれます。

#### 3. 金融テクノロジー（フィンテック）

東南アジアにおけるフィンテック分野への投資は依然として高い関心を集めており、地域の投資誘致をリードしています。特にブロックチェーン技術は、シード投資の約 20% を占めるなど、今後の市場拡大が期待されます。

AI の専門家として世界的に知名度のあるアンドリュー・ング氏は、「AI は 100 年前に電気をもたらしたのと同程度の大きな変化を世界にもたらす“新しい電気”である。」と述べていま

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

---

す。彼はまた、特に観光、ヘルスケア、農業といった、既にタイが国際的に強みを持つ産業における AI の応用に大きな可能性を見出しています。

参考 7 : <https://www.bangkokpost.com/business/general/2831903/ai-fund-kxvc-partner-to-develop-local-ai-startups>

### ・日本の投資家にとってのタイの魅力

日本とタイは、長年にわたる緊密な経済関係を背景に、今も強固なパートナーシップを築いています。現在、タイには約 6,000 社の日本企業が進出しており、これは世界的にも中国・アメリカに次いで 3 番目に多い数字です。中でも自動車産業では、タイは日本企業にとって極めて重要なサプライチェーン拠点となっており、この信頼と実績が、AI や先端技術分野への投資においても強固な基盤となっています。

日本の投資家にとって、タイは今や単なる製造拠点ではなく、東南アジアのスタートアップ投資先としても注目されています。シンガポールに比べスタートアップの数は少ないものの、タイの企業は高い成長ポテンシャルを持ち、特に地域市場への展開を目指すスタートアップに対して、日本の投資家が成長支援を行う好機となっています。

2023 年には、クルンシー・アユタヤ銀行が、タイ・日本・ASEAN の政府機関やビジネス団体と連携して、「Japan-Asean Startup Business Matching Fair 2023」を開催しました。このイベントには、ASEAN 各国や日本から 160 人以上の投資家が集まり、60 以上のスタートアップ（そのうち 18 社は多様な分野で活躍するタイ企業）が参加しました。その結果、3 年以内に少なくとも 10 件のビジネスマッチングが成立し、日タイ間のスタートアップ連携が着実に進んでいることが示されました。



Japan-Asean Startup Business Matching Fair 2023

参考 8 : <https://www.nationthailand.com/business/corporate/40032555>

参考 9 : <https://www.bangkokpost.com/life/tech/2590639/investors-eyeing-tech-startups>

### ・タイ・日本間のイノベーションとスタートアップに関する協力

2024年5月、NIAは、日本最大の国際テクノロジー・スタートアップイベント「Sustainable High City Tech Tokyo 2024 (SusHi Tech Tokyo 2024)」に参加するため、タイのスタートアップを率いて日本を訪問しました。この機会に、NIAは日本の2つの主要機関と覚書(MOU)を締結しました：

1. **東京都庁**：イノベーションの開発とスタートアップビジネスの促進に焦点を当て、スタートアップエコシステムの発展に有益な情報や政策の共有、タイと日本のスタートアップの成長促進における協力のための枠組み構築を目的としています。



出典：[Techsauce](#)

2. **きらぼし銀行**：東京都が運営する銀行で、この連携は、タイと日本間のイノベーションエコシステムの開発およびスタートアップエコシステムへの投資に関する知識交換の枠組みを構築することを目的としています。さらに、さまざまな促進プログラムや活動を通じて、イノベーションビジネスの活性化やスタートアップへの投資機会の創出を推進していく予定です。



出典：[Techsauce](#)

これらの協力関係により、日本の投資家は成長ポテンシャルの高いタイのスタートアップへ、これまで以上に容易にアクセスできるようになります。同時に、タイのスタートアップに

とって、日本市場や資金調達へのアクセスが拡大し、両国のスタートアップエコシステムの相互成長が期待されています

参考 11 : <https://techsauce.co/news/nia-mou-sushi-tech-tokyo-japan>

### ・タイにおける AI 投資の可能性を持つ産業

日本の投資家がタイのスタートアップにおける AI 分野への投資を検討する際、注目すべき産業がいくつかあります。以下は、今後特に大きな成長が期待される 6 つの主要分野です：

#### 1. スマートツーリズム

観光はタイの主要産業の一つであり、AI を活用した観光体験の高度化が進んでいます。たとえば、観光地推薦システム、旅行計画プラットフォーム、自動観光客支援などが挙げられます。

#### 2. ヘルステック（健康技術）

病気の診断、新薬の開発、個人の健康状態のモニタリングなど、医療分野での AI 活用方法が期待されます。NIA は、タイの 8 つのスタートアップをターゲットとし、ドイツでの健康イノベーションコンファレンス（health.tech conference 2024）への出展の支援するなど、積極的に推進しています。

#### 3. アグリテック（農業技術）

食糧生産国であるタイでは、精密農業、収穫予測、食品サプライチェーンの最適化など、AI 技術を取り入れた農業分野の進化が注目されています。

#### 4. フィンテック（金融技術）

フィンテックは、東南アジアで最も投資が集まる分野の一つです。2024 年には、タイのシード資金調達全体のうち 26% がフィンテック関連に投じられています。

#### 5. グリーンテクノロジー（環境技術）

環境問題の解決に向けて、クリーンテックやクライメートテックの導入が加速しています。今後 10 年間で、この分野は年間約 25% の成長が予測されています。

### 6. インダストリー4.0（スマート製造）

製造業においては、AI を用いた生産効率の向上やコスト削減が期待されており、タイの産業改革にとって重要な要素となっています。

参考 12 : <https://www.scb10x.com/en/blog/exploring-thailand-s-startup-ecosystem>

参考 13 : <https://web-assets.bcg.com/75/21/4c0f8ad74d12929c0d47b980bb7d/getting-ready-for-business-firming-up-thailand-startup-ecosystem.pdf>

### ・タイ政府による支援政策と優遇措置

タイ政府は、特に AI や先端技術分野における外国からの投資誘致に力を入れており、海外の投資家に対して多くの支援策やインセンティブを提供しています。これらの施策は、日本の投資家にとっても非常に魅力的なものとなっています。

#### ○ BOI による特典

タイ投資委員会（BOI）は、外国からの直接投資を促進するために、税制面・非税制面での手厚い優遇措置を提供しています。主な特典は以下の通りです：

##### 1. 外国人による 100%株式保有の許可

通常、外国人の株式保有は 49.99%までに制限されていますが、BOI の奨励を受けたプロジェクトにおいては、外資 100%での事業運営が可能です。

##### 2. 税制優遇措置

最大 13 年間の法人所得税免除をはじめ、機械や原材料の輸入税の軽減、インフラ投資に対する追加の税額控除などの特典があります。

##### 3. 土地所有権

原則として外国人による土地所有は認められていませんが、BOI 奨励事業であれば事業活動目的での土地所有が可能になります。

##### 4. ビザと労働許可証の優遇措置

BOI 企業に所属する外国人従業員は、外国人雇用の人数制限なしで雇用が可能となり、ビザ・労働許可証の取得手続きが簡素化されます。

参考 14 : <https://belaws.com/thailand/thailand-tax-incentives-from-the-boi/>

### ○ スタートアップ起業家向けのスマートビザ



スマートビザSタイプ（スタートアップ）は、タイ政府が指定する対象産業分野でスタートアップを立ち上げようとする起業家向けに提供される特別な長期滞在ビザです。通常のビザに比べて、柔軟性と利便性が大きく向上しています。

#### 資格要件の例：

- タイ国内でスタートアップ企業を設立していること
- 国家イノベーション庁（NIA）やデジタル経済振興庁などの関連政府機関から対象産業の企業として認定されていること

#### 特典の例：

- 2年間有効で条件を満たせば延長が可能なビザ（通常は1年）
- 労働許可証なしで就労が可能
- 入国管理局への報告義務が90日ごとではなく1年ごと
- タイから出国して再入国する際にリエントリーパーミットが不要

参考 15 : [https://smart-visa.boi.go.th/smart/pages/smart\\_s.html](https://smart-visa.boi.go.th/smart/pages/smart_s.html)

### ・タイのスタートアップ支援機関

タイ政府は、スタートアップの育成とイノベーション促進のために複数の機関を通じて支援プログラムや政策を展開しています。代表的な機関とその主な役割は以下の通りです。

#### 1. 国家イノベーション庁 (NIA)

政府からの補助金へのアクセス、インキュベーションおよびアクセラレータープログラム、国際的な成長機会を提供しています。

NIA の HP : <https://www.nia.or.th>

#### 2. 技術イノベーション起業家開発基金 (TED Fund)

財政支援、ネットワーキングの機会、知識を提供しています。2025 年には、TED Fund はスタートアッププロジェクトの支援に 2 億 7300 万バーツ以上の予算を割り当てています。

TED Fund の HP : <https://tedfund.mhesi.go.th>

#### 3. デジタル経済振興庁 (depa)

組織や個人がデジタル関連コースの費用を法人税や個人所得税から控除できるようにすることで、国内のデジタルスキル開発を強化しています。

Depa の HP : <https://www.depa.or.th/th/home>



### ・最後に

タイのスタートアップエコシステム、特に AI 分野は急速に成長しており、日本の投資家にとって多くの機会を提供しています。政府の支援策や税制優遇などの特典、さらに日本との長年にわたる経済的協力関係が、タイを魅力的な投資先にしています。タイは、優れたインフラ、高いビジネス運営コスト効率、技術的に有能な人材を備えており、これらの強みが AI 産業の発展を後押ししています。

観光、ヘルスケア、農業などの主要産業においても AI の活用が進んでおり、これらはタイの経済的強みと合致しています。AI 分野はまだ初期段階にあり、高い成長可能性を秘めているため、今が投資にとって最適なタイミングと言えるでしょう。日本の投資家がこの段階で投資を行うことは、産業の発展方向を形成する助けとなり、将来の競争優位性を確立するための重要なステップとなります。

タイの AI 分野の新世代の起業家との共同投資は、日本の技術と経験をタイの創造性や市場理解と組み合わせる理想的な協力となり、タイ市場へのアクセスを広げるだけでなく、ASEAN 地域の市場にも拡大するチャンスをもたらします。

□■タイ企業インタビュー■□

～K.P. CASTING PRODUCT COMPANY LIMITED～



CEO：カナコーンインヨン・タナボン 氏

・会社の歴史と概要

株式会社 K.P. CASTING PRODUCT は、金属鋳造および金属成形の総合サービスを提供しています。当社は 2000 年から営業を開始し、小さな旋盤工場としてスタートしました。当初は機械も少なく、金属部品の製造を請け負う小規模な事業でした。徐々に拡大し、会社として設立され、金属製造用の機械を増やしてきました。

現在では、鉄の棒の溶解から鋳鉄、アルミニウム、金属金型の製作まで幅広く対応しています。当社はかなり完備された機械設備を持ち、金属溶解用の電気炉が 2 基、旋盤、切削装置、さらには金属の塗装作業まで対応可能です。

製造工程には、ガスコンロや東京の公園でよく見かける金属製ベンチの脚などの大量生産品向けの自動化されたプロセスと、少量のカスタム製品向けの人による製造プロセスの両方があります。当社は様々な顧客ニーズに応えるために適応してきました。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

現在、従業員は約 60～70 名で、24 時間体制で稼働しています。主に B2B 顧客にサービスを提供し、他のブランド製品の製造も請け負っています。すべての工程を自社で行えることや、製品保証を提供できることが、ユーザーに大きな安心感を与え、長年この市場で存続できている理由となっています。



電気炉による金属溶解、金型製作、そして塗装工程を含む社内製造プロセス。

### ・会社のサービスと製品

当社の主要サービスは、金属鋳造および各種金属成形の設計・製造です。株式会社 K.P. CASTING PRODUCT の主力製品は高圧ガスコンロ「KB-5 HighGas」モデルで、これは当社が独自に開発した製品です。

この製品開発では、燃焼の専門家であるサムルン・チューチャイ教授（博士）および燃焼システム研究チームとの協力により、電気システムと燃焼システムの設計を行いました。キングモックト工科大学トンプリ校工学部機械工学科および国立科学技術開発庁が研究開発をサポートし、当社の製品の効率性向上に貢献しています。

当社の製品は 2018 年から「代替エネルギー開発・エネルギー保全局（エネルギー省）」より「高効率エネルギー節約ラベル<sup>1</sup>」を取得しており、これが市場での競合他社に対する優位性となっています。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

※1：高効率エネルギー節約ラベルとは、代替エネルギー開発・エネルギー保全局（エネルギー省）が発行するラベルで、電気製品や各種機器が定められた基準よりも高いエネルギー効率を持つことを示すものです。このラベルにより、消費者は電気代を節約できる環境に優しい製品を簡単に選ぶことができます。



キングモンクット工科大学トンプリ校の研究チーム：燃料効率の高いバーナーの開発



KB-5 HighGas 高圧ガスコンロ：省エネルギーラベル認定製品



KP Casting の他の製品例としては、  
衣類用ハンガースタンドやバンコク都内の公園に設置されているベンチの脚があります。

2020年に当社は製品ラインを拡大し、「Chaté (シャテ)」ブランドの铸铁フライパンの製造を開始しました。これは新しい選択肢として市場に投入され、当社はタイで初めて铸铁フライパンを製造するメーカーとなりました。Chaté フライパンは消費者に直接販売する製品 (B2C) となっており、当社にとって新しいマーケティング戦略を意味します。タイの消費者はまだ铸铁フライパンよりもコーティングされたフライパンやテフロン加工のフライパンを好む傾向があるため、市場での競争が続いています。また、デジタル時代におけるマーケティングも現代の課題となっています。KP Casting は従来 B2B 販売が中心で、既存の顧客基盤があったためマーケティング活動はあまり行ってきませんでした。しかし、B2C 製品の販売を開始したことで、消費者に直接コミュニケーションを取るというマーケティング方法の変化が必要となりました。





「Chaté (シャテ)」ブランドの鋳鉄フライパン

### ・タイ市場の概観

タイにおける金属鋳造製造会社の市場は、大小様々な企業が存在しています。タイは製造業の拠点として知られていますが、多くの企業がコスト高騰に対応できず閉鎖に追い込まれています。また、安価な中国製品が大量に流入し市場を席巻していることで、大手企業だけが残る傾向にあります。

ガスコンロ市場だけを見ると、タイでは主要な3社が市場を占めており、月間約10万～15万台の販売があります。現在、当社(K.P. Casting)は市場の約3分の1のシェアを持っています。K.P. Castingの強みは、製品を最初から最後まで自社で製造できる点、あらゆる段階での問題解決能力、そして優れた製品保証です。

現在は注文プロセスも便利になり、お客様が安価な輸入品を試しても、その製品の品質が低く保証がないことから、最終的には当社の高品質製品に戻ってくることが多いです。販売代理店にとっても、輸入品のように大量の在庫を抱える必要がないという利点があります。

タイにおけるフライパンの市場シェアは、テフロン加工フライパンが約50%、鉄製フライパン(中国式丸型)が約30%、その他が20%と推定されます。鋳鉄フライパンはこの「その他」20%のカテゴリーに含まれており、まだ成長の余地があります。



### ・現在の課題と機会

現在直面している避けられない課題の一つは、より安価な中国からの輸入品です。しかし、実際には価格差はそれほど大きくなく、数百パーセント程度の違いに過ぎません。中国製品は生産コストが低いですが、輸入税や特に金属製品の輸送コストを含めると、コストが上昇し、市場価格よりも低く販売することが難しくなります。そのため、価格設定において当社はまだある程度の優位性を持っています。

品質面では、当社はキングモンクット工科大学トンプリ校やマヒドン大学との研究開発を通じて製品を継続的に改良しており、品質面で市場をリードし続けています。他社が当社の製品を模倣するほど、製品開発に力を入れています。

消費者の多くはコンロの品質にそれほど重点を置いておらず、主に火力の強さや、ガス消費量の節約についての関心が高いですが、製造者として、当社は省エネルギーラベルに相応しい高品質な製品を提供したいと考えています。

現在、当社は「Chaté」ブランドの铸铁フライパンの市場を開拓しています。タイでは従来のフライパン（テフロン加工、鉄製、ステンレス製、アルミニウム製）の使用が一般的であり、铸铁フライパンはまだ広く普及していません。

一方、西洋諸国では铸铁フライパンが非常に人気があり、特にステーキや焼き菓子などの調理に適しています。铸铁フライパンは他のタイプのフライパンよりも熱が均一に広がり、ガス

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

---

コンロ、炭火、西洋で使用されるオーブンなど、様々な調理方法に対応できる多機能性を持っています。

鋳鉄フライパンの他の利点としては、耐久性があり化学物質が含まれていないことが挙げられます。テフロン加工のフライパンと比較すると、テフロン製造過程ではポリテトラフルオロエチレン（PTFE）という化学物質でコーティングする必要があります。市場で販売されている安価なテフロンフライパンが、コーティングに使用される化学物質からどの程度安全であるかは保証できません。一方、鋳鉄フライパンは鉄でできており、安全な料理用油でお手入れするだけです。

当社は製品の利点を紹介するとともに、消費者教育も行っています。オンラインチャネルを通じた販売は、当社にとって機会と課題の両方を提供しています。

### ・顧客グループ、販売チャネル、マーケティング計画

K.P. Casting の金属鋳造・成形製品は主に B2B 市場向けです。この分野では、既存の顧客基盤、特に政府機関との関係維持に焦点を当てています。新規顧客は主に口コミによって獲得しており、Chaté ブランドの鋳鉄フライパンを知った顧客から金属製調理器具や他の部品の製造依頼も増加しています。

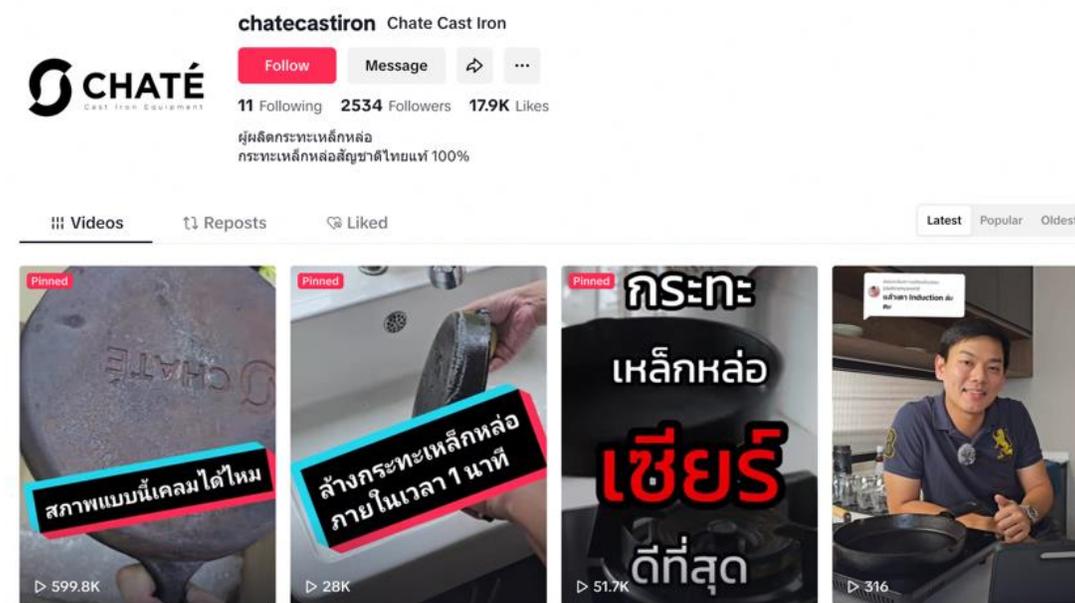
一方、Chaté ブランドの鋳鉄フライパンは B2C 販売に焦点を当て、様々なオンラインプラットフォームで展開しています。最初は Facebook から始め、その後 Instagram へと拡大しました。現在では TikTok も重要な販売チャネルとなっており、このプラットフォームでは特に良い売上を記録しています。

また、レストラン業界向けにはカスタムフライパンも提供しています。例えば、ステーキレストラン向けの大型グリル、ベーカリー向けの深型フライパン、あるいはホテルレストラン向けの高品質かつ均一に熱を分散するフライパンなど、顧客の具体的なニーズに応える製品を提供できることが強みです。レストラン業界は当社ブランドの主要顧客となっており、インフルエンサーを活用したオンラインコンテンツ制作にも注力しています。

オンライン販売チャネルの研究開発は継続的に行っており、市場の変化に合わせて戦略を調整しています。さらに、音楽フェスティバルやフードフェスティバルなど、屋外調理器具が必要なイベントに合わせたプロモーションも展開しています。また、政府が景気刺激策として消

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

費促進のための給付金を支給する期間には、売上が顕著に増加する傾向も見られます。このような市場の動向を敏感に捉え、適切なタイミングでの販売戦略の展開を心がけています。



TikTok アプリ上の Chaté チャンネル

### ・製品とサービスの強み

当社の強みは、製品を最初から最後まで自社で生産・管理できる能力にあります。工場を出る前に全ての製品の品質を検査する設備を備えており、消費者が支払う価値に見合う高品質な製品を開発することに注力しています。信頼できる専門家との研究開発を通じて製品の質を高めており、これが市場での競合他社が当社の製品を模倣するほどのユーザー認知を獲得している理由です。こうした模倣は避けられないことではあります。

Chaté ブランドの铸铁フライパンについては、オンラインマーケティングに重点を置いています。また、定期的な顧客コミュニケーションと情報提供を販売と並行して行うことが重要だと考えています。動画やインフォグラフィックなどを通じて様々な知識を提供しており、特に現代の消費者が健康への関心を高め、より多くの情報を求めるようになってきていることに対応しています。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

さらに、顧客が特定の用途に合わせてフライパンをカスタマイズしたい場合は、当社に直接注文することも可能です。このように、顧客のニーズに柔軟に対応できる体制を整えています。



SNS で公開されている Chaté フライパンの使用方法、お手入れ方法、メリット・デメリット紹介コンテンツ

### ・外国企業との取引や協業経験

金属部品のお客様としては、すでにタイ国内の日系企業との取引があります。一方、Chaté ブランドの鋳鉄フライパン事業では、製品発売以来、キャンピング用品関連の日本企業 2~3 社から問い合わせがありました。これらの企業は当社の製品を日本で販売したいという意向でしたが、高い関税と輸送コストのため、現在はビジネス提携を保留しています。

その他にも、カンボジアやミャンマーなどの近隣諸国にも製品を輸出していますが、これらは主に仲介業者を通じた取引となっています。

### ・外国企業、特に日本企業への会社紹介

KP Casting では、鋳鉄（FC 15-30 グレードの鋳鉄および FCD グレード鋳鉄）やアルミニウムなどの金属部品の製造サービスを提供しています。当社は設計から製造まで、専門知識と技術を持った熟練チームによる一貫したサービスを提供できる体制を整えています。タイの工場では製造される製品の品質に自信を持っていただけるよう努めています。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

---

また、Chaté ブランドの鋳鉄フライパンについては、調理器具やキャンピング用品に興味をお持ちの日本企業の皆様にぜひ製品ラインに加えていただきたいと思います。フライパン自体の品質と当社の製造能力は他社に引けを取らない水準であり、確かな品質の製品をご提供できることをお約束します。

当社は、日本企業との新たなビジネスパートナーシップを築く機会を歓迎しており、高品質な金属製品の製造におけるニーズにお応えする準備が整っています。

### 【会社概要】

会社名：K.P.CASTING PRODUCT COMPANY LIMITED

住所：108/2, Moo 8, Lat Yai, Mueang Samut Songkhram District, Samut Songkhram 75000

インタビュー日：2025年2月27日

Eメール：k.p.castingproduct@gmail.com

K.P.CASTING の SNS：<https://www.facebook.com/K.P.Casting>

Chate の SNS：<https://www.facebook.com/chate.cast/>

□■タイの国技ムエタイの聖地 ラチャダムヌン・スタジアム■□



画像：ラジャダムナンスタジアムの公式ウェブサイトより

こんにちは。島根・ビジネスサポート・オフィスのタイ人スタッフ、ニンです。

タイと言えば、鮮やかな文化や伝統、そして世界中の格闘技ファンに愛されているムエタイ（タイボクシング）を思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。ムエタイは、単なるスポーツではなく、タイの歴史や文化、精神が深く息づく伝統的な武道です。

今回は、タイの国技であるムエタイの聖地であるラチャダムヌンスタジアムについてご紹介したいと思います。

### ラチャダムヌン・スタジアムの概要

タイ・バンコクの中心部にある「ラチャダムヌン・スタジアム (Rajadamnern Stadium)」は、1945年に建設された、タイで最も歴史あるムエタイスタジアムのひとつです。名前の通り、バンコクのラチャダムヌン通り沿いに位置しており、世界中の格闘技ファンにその名を知られています。

このスタジアムは、タイで初めて国際基準を満たした本格的なボクシングスタジアムとして誕生し、以降、タイ国内外の一流ファイターたちがしのぎを削る舞台として発展してきました。スタジアムでは仏教の祝日を除き、ほぼ毎日試合が開催されており、いつでも熱い戦いを間近で体感することができます。

チケットは座席の位置によって価格が異なり、リングサイドに近い特等席からスタンド席まで幅広く用意されています。価格は1,500 バーツから22,500 バーツ程度まで設定されており、予算や目的に応じて選べるのも魅力のひとつです。

### ラチャダムヌン・スタジアムの観客数

ラチャダムヌン・スタジアムでは、ここ数年で観客数が飛躍的に増加しています。スタジアムの運営会社によると、2022年の年間観戦者数は約29,000人でしたが、2023年には129,000人、そして2024年にはなんと約300,000万人に達しました。2025年もこの勢いは続いており、引き続き300,000人を超える来場者数が見込まれています。

注目すべきは観客の約80%が外国人であるという点です。国別で見ると、2025年の第1四半期(1~3月)では、最も多かったのがアメリカからの観客で11,428人。次いでフランス(10,318人)、イギリス(9,275人)、ドイツ(6,103人)と、欧米諸国からの来場者が目立ちます。ムエタイがいかに世界中で支持されているかが、このデータからもよく分かります。

### 観客数増加の要因

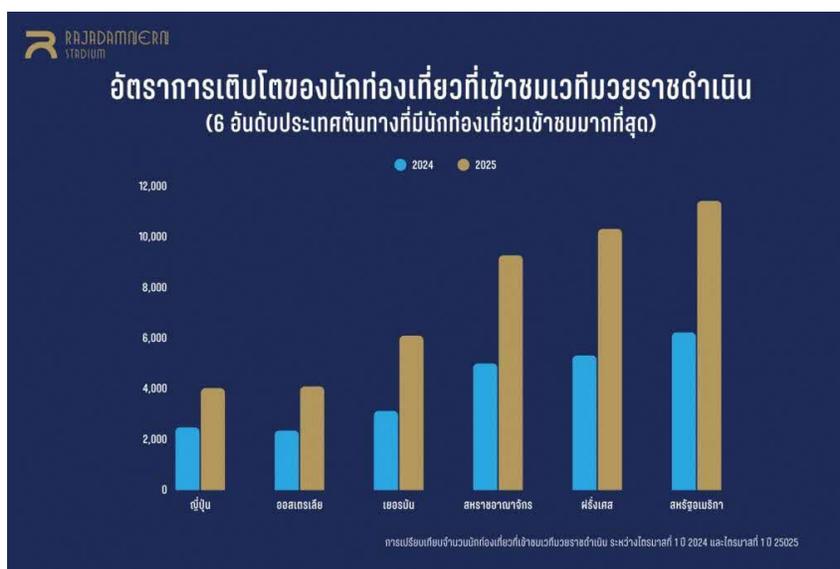
この急成長の背景には、2022年からスタジアムの運営に携わっている「GLOBAL SPORT VENTURES CO., LTD. (GSV)」の影響があります。同社は2022年にラチャダムヌン・スタジ

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

アムの株式を取得し、スタジアムの再活性化と近代化を目標に掲げスタジアムの運営を行っています。

大きな取り組みのひとつとして、「ラチャダムヌン・ワールド・シリーズ (RWS)」の開催が挙げられます。「ラチャダムヌン・ワールド・シリーズ (RWS)」は、2022年にスタートしたムエタイの国際大会で、バンコクのラチャダムヌン・スタジアムを舞台に、世界中のトップファイターたちが集い競い合う新しいスタイルのイベントです。伝統的なムエタイの精神を受け継ぎながらも、男女問わず多階級での試合展開、グローバル向けのライブ配信を通じて、世界中の格闘技ファンに向けた近代的なスポーツエンターテインメントとして注目を集めています。

試合展開だけでなく、スタジアム内の設備改善や観戦体験の向上にも注力し、最新の照明・音響を取り入れた演出を行うなど、ムエタイをより多くの人々に楽しんでもらえるよう努めています。エンタメ性を向上させたことにより、試合の激しい攻防だけでなく、新しくなった司会者によるユニークな演出やショーの場面も、今やタイのソーシャルメディアで話題沸騰中で、TikTok や Instagram などでは、試合の様子が次々とシェアされ、多くの「いいね！」やコメントが寄せられています。



最後に

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

---

ラチャダムヌン・スタジアムで行われるムエタイの試合は、タイ国内はもちろん、海外でもリアルタイムで放送されています。放送は 200 以上の国と地域に向けて、スポーツ専門のストリーミングプラットフォームを通じて配信されており、グローバルな視聴者から高い注目を集めています。

その影響もあって、これまでムエタイにあまり興味がなかった人や、ラチャダムヌン・スタジアムに足を運んだことがない人たちも、「一度は観てみたい」と試合を観戦するようになっています。

いま、まさに話題の中心となっているラチャダムヌン・スタジアム。迫力ある試合とエンターテインメント性が融合したその雰囲気を、ぜひ現地で体感してみてください。

## 島根・ビジネスサポート・オフィス便り vol.127

---

※掲載情報はご自身の判断と責任におきましてご活用ください。

※別紙に、年内に開催予定のタイ・インドネシア・ベトナムの展示会情報をまとめました。

サポートオフィスでは、現地で開催される展示会へのアテンドも行っております。

関心のある展示会がございましたら、お気軽にご連絡ください

---

担当：柴田 隼介 Shunsuke Shibata

Address: 1 VASU1 Building, 12 FL., Room 1202/D, Soi Sukhumvit 25,

Sukhumvit Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110

Mobile: +66(0)63-228-4585

Mail : [shimane-bizsup@aapth.com](mailto:shimane-bizsup@aapth.com)

---

▶ タイ経済指標

項目	単位	2022	2023	2024	2025
GDP 成長率	前年比 (%)	2.7	1.9	2.6	2.6 (2024 年)
人口*	千人	69,922	70,104	70,269	70,294 (2 月)
労働者の数*	千人	40,143	40,674	40,356	40,300 (3 月)
失業率**	%	1.32	0.98	1.00	0.89 (3 月)
最低賃金*	バンコク	353	353	363	372
	チョンブリー	354	354	361	400
	アユタヤー	343	343	350	357
	ラヨーン	354	354	361	400
賃金：全国製造業の平均	バーツ	14,305	14,416	14,394	14,394 (24 年)
インフレ率**	前年比 (%)	6.08	1.23	0.06	-0.22 (4 月)
中央銀行政策金利*	%	1.25	2.50	2.25	2.00 (2 月)
普通貯金率**	%	0.28	0.40	0.39	0.28 (4 月)
ローン金利 (MLR) **	%	5.50	6.83	7.14	6.99 (4 月)
SET 指数*	1975 年 : 100	1,668.66	1,415.85	1,400.21	1,197.26 (4 月)
バーツ/100 円**	バーツ	26.78	24.82	23.33	22.56 (4 月)
バーツ/米ドル**	バーツ	35.06	34.80	35.29	33.90 (4 月)
円/米ドル**	円	131.38	144.07	153.72	144.39 (4 月)
車販売台数 (1 月からの累計)	台数	856,057	702,921	559,255	559,255 (24 年)
BOI 認可プロジェクト	件数	1,554	2,383	2,953	2,953 (24 年)
BOI 認可プロジェクト金額	10 億バーツ	618.62	750.12	973.14	973.14 (24 年)

\*期末、\*\*平均